

いざ、地域決勝大会へ

Machida Dream まちだドリーム

JFL 昇格決戦 大壮行会

満員大盛況!

11月12日(水)ホテル ザ・エルシイ町田「珊瑚の間」にて、『2011年 まちだドリーム実現へ FC町田ゼルビア JFL 昇格決戦 大壮行会』と題し全国大会への壮行会が行なわれ、720名(推定)ものファン、サポーター、スポンサー企業関係者で会場は埋め尽くされた。



全国地域リーグ決勝大会 スケジュール詳細

— 1次ラウンド試合日程 —
(コカ・コーラ ウェスト スポーツパーク(鳥取県鳥取市))

- 1日目** 佐川急便中国サッカー一部戦 (11月22日)
- 2日目** クラブフィールズノルブリッツ北海道戦 (同23日)
- 3日目** 矢崎バレンテフットボールクラブ戦 (同24日)

決勝ラウンドは11月28日~30日、
沖縄県の石垣島で開催。

FC町田ゼルビア
10. 山口貴之主将

開場前から多くの人垣
この日の町田はどんよりとした雲が空を覆い、お昼近くには冷たい雨も降り出すあいにくの天気。一体どれほどの皆さんが会場へ足を運んでいただけたのか、全く想像もつかない状態。屋過ぎより事務局とボランティアスタッフが現地会場の設営と準備を進め、そこにプロ選手達も加わり準備を展開。それでも開場の15分前には準備が完了した時には会場外のロビーはファン、サポーター、スポンサー企業関係者で埋め尽くされ、開場をまだかまだかと待ち構えている光景となった。

もともと地域に愛されているクラブ
会場内は参加者の皆さんでざわざわと埋まり、熱気に包まれる中、冒頭、守屋代表は「ゼルビアは大会参加16チーム中、最も地域の応援を受けていると自負しているし、本日の会合の状況を見て、どれだけ皆さんに期待を受けているかを改めて実感している」と述べた。

ゼルビアファミリー大集合!
続いて「総合型地域スポーツクラブをめざすゼルビアのサッカーに次ぐ種目であるチアリーディングFINESSの幼稚園児から大人までのパフォーマー。さらにはTUBEのギタリストで町田市出身の春畑道哉さんからのメッセージに続き、芸能人が友情出演「ライオン」で来訪。ゼルビアのファンで今年の開幕試合も観戦していただいたタレントの風見しんごさんとお笑い

「全勝!」&昇格で昨年のリベンジ!
選手は去年のこの大会で本当に悔しい思いをしている。今年は去年以上に多くの人に支えられていることも感じている。自分たちが精一杯やっていたことを目一杯出したい」とリベンジを誓う竹中選手。戸塚哲也監督は「今までのサッカー人生の中でこんなにも多くの方が集まりいただき、こんなにも熱いサッカーの会合はヴェルディ時代も含めて初めてだ。しかもこれが祝勝会ではなく、壮行会なのだから本当にビックリしている。町田市民の声が聞こえてきた。選手は10カ月間、トレーニングに全力を尽くし、人間的にも成長した。JFL昇格に向けてこれまでやってきたことをそのまま出して戦ってやる。サポーターの歌は心に響いた。全勝!」と30日に「やりました」と報告することを約束すると力強く語った。





サプライズ! 華やかなゲストの登場

サプライズは主演映画が公開されテレビや雑誌に引っぱり張られたこの「ミスターハンサム」谷原章介さんの登場。今年3月には駒沢公園でのゼルビアの公式戦を観戦していただいている谷原さん。ゼルビアは本当に強いチーム。Jリーグのチームになることを切に望んでいる。鶴川生まれの自分としてもぜひ力になりたい。みんなでゼルビアを盛り上げましょ〜と呼びかけると会場は大歓声。そこにとういうわけか竹中選手が壇上に登って行って二人でツーショット。「タケさん、美味しすぎる〜」と選手のやっかみを受けながら大盛り上がり(「プレイベート」なので肖像権の関係で谷原さんの写真が掲載できません。残念です)。さらに売り出し中の歌手の西田エリさんのライブが続いた。



ゼルビアの全国大会壮行会ではすっかり恒例となった「遠征費寄付オークション」では、酒井選手と森川選手が進行役を務め、竹中・酒井・ジョズエ・田中・山口・各選手がサイン入りユニフォームやサッカーグッズを提供すると、参加者の皆さんが競うように競り落とす。最後に登場した戸塚監督は現役時代(ヴェルディ)のサイン入り練習着を提供。これがこの日最高の落札額となり、白熱した「競り」に戸塚監督が再び壇上に登って、「もうこれで決めて」と途中で止めてもらうくらいの大盛り。戸塚監督は着用していたブランド品のネクタイも予定外の出品するなど、本当に楽しく和やかなコーナーとなった。

期待

暖かい気持ち、
大きな



町田市民の夢を乗せて

ゼルビア選手全員がステージに上がると、キャプテン山口貴之選手は「ゼルビアはJリーグにいける力を持っている。これでJFLの昇格を決めて、来年はJリーグに挑戦する。これからもサポートをお願いしたい」とあいさつ。私設応援団「クルヴァ」は、ホーム最終戦で集めた寄せ書き入りフラッグを選手に贈り、副応援団長のSHIGEさんは「ほとんどのサポーターは石垣島まで応援に行くことはできない。みんなの夢と希望が詰まった寄せ書きを持って決戦の地に行ってください」と呼びかけた。

最後は応援歌「俺達のこの声は届いているかい」を「クルヴァ」のリードで参加者全員大合唱。戸塚監督が「胸に響いた」と言えは、目頭が熱くなっている選手も。まちくたゼルビアの大ホールの中を会場出口まで送られた選手たちが、代わって会場出口で参加者一人ひとりに心ばかりの記念品を手渡し、御礼のお見送り。そこかしこで参加者から選手へ「がんばって」「良い結果を期待してるよ」と激励の言葉が聞こえ、本当に感動的で暖かい雰囲気の大壮行会となった。



夢おこし まちおこし 町田チャレンジ

イレブン
ゼルビア2011年宣言

2011年、私たちはJリーグ昇格を実現します。
まちに元気、子どもに夢と希望を運びます。



FC
Machida
Zelvia